

学校教育目標
学びを活かし、未来を創る子どもの育成
 ～自ら学び続ける子・共に学び認め合う子・学びを活かす子～

めざす子ども像

自ら学び続ける子ども	共に学び認め合う子ども	学びを活かす子ども
学びへの関心・意欲をもち、常に更なる学びを求め、学びの対象に粘り強くかかわる子ども A 対象に興味・関心をもつ。 B 課題に気づき、実現への見通しをもち、行動する。	互いの思いや願いを大切にし、質的な高まりを目指して、創造的に学ぶ子ども C 互いのよさを認め合い、見方・考え方を広げ、深める。 D 新しく出てきた考えを伝える。 E 新しい学びを創る。	学んだことの良さや価値が分かり、学びを生活や他の場面で活かす子ども F 学びのよさや価値を知り、自分の成長をふり返る。 G 学びを生活や他の場面で活かし、人や社会と繋がる。

行動の姿

「すすんで あ そ べ きっしょういんっ子」

- あいさつ …相手の目を見て、進んで気持ちのよい挨拶をする。
- そうじ …進んで掃除をする（校舎を磨いて心も磨く）。
- べんきょう…課題に最後まで粘り強く取り組む。姿勢良く座る。相手の目を見て最後まで話を聞く。相手を見て話す。まっすぐ手を挙げ「はい、・・・です。」と文末まで話す。
- きまり …きまりや約束を守る（自分や友だちの命や人権を守る）

めざす学校像

～子ども、保護者、地域の誇りとなる学校～

- 一人ひとりが輝き、生き生きと活動する学校
- 人間的温かさと教育実践の厳しさがみなぎる学校
- 清潔で美しい学校
- 家庭や地域と固く結ばれた学校
- 心身ともに健康で、安全で安心できる学校

めざす教職員像

～高い人権感覚をもち、子どもに力をつける教職員～

- 授業を大切に、授業で勝負する教師
- 学校課題に一致団結して取り組み、児童・保護者・地域から信頼される教職員（報・連・相）
- 心配り、目配り、思いやりを大切に、子どもに寄り添える教職員
- 子どもと共汗（共感）できる教職員

めざす家庭像

～人間としての心やマナーが育つ家庭～

- 基本的な生活習慣が身に付く家庭
- 家族の一員として助け合いの心が育つ家庭
- 社会の一員としてマナーや奉仕の心が育つ家庭

◇子どもが輝く姿の見える学校 ◇活動や体験を大切にする学校 ◇地域と共に歩む学校